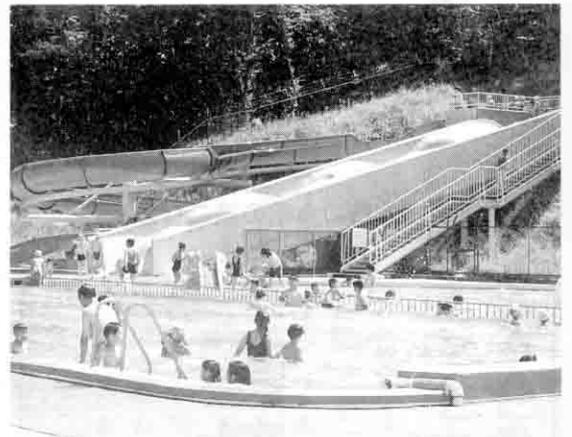




## 暑い夏、町民プールで楽しもう

総合運動公園の町民プールが7月5日、オープンしました。ことしは梅雨にもかかわらず連日暑い日が続いたため、プールびらき当日は約 270人もの利用者で賑わいました。

町民プールは昭和53年に完成し、以来たくさんの皆さんに楽しんでいただいています。そして、去年はウォータースライダーが新しく作り替えられ、ますますおもしろくなりました。町民プールは8月31日までご利用いただけます。暑い夏を乗り切るためにも、ぜひ町民プールで楽しんでください。



◇町の人口(7月1日現在) 男15,298人 女15,591人 計30,889人(前月比+9) 世帯数7,926世帯(前月比+5)

回収率は69%

# 介護は在宅で 配偶者や家族に



町では昨年十二月、二十歳以上の男女一、二〇〇

人を対象に福祉に関する意識についてアンケート調査を実施しました。調査用紙は郵送により配布、回収、八三一人の方から回答をいただきました。回収率は六九・三％でした。この調査は、高齢化が進むなかで、みなさんが福祉の現状をどのように考え、また将来に向けてどのような施策を望んでいるのかを把握するために実施されたものであり、調査結果はこれから安心して住めるやさしい町づくりを進めるための大切な資料となります。調査に協力ください。

## 余暇時間は 自宅で過ごす

日常生活に関する設問の中では、平日の余暇時間は二〜三時間（二・三・五％）の方が、また休日は六時間以上（二・八・九％）の方が最も多いという結果でした。過ごし方については、平日、休日ともテレビ・ラジオ・新聞・雑誌を見たり聞いたり、家族との団らん、また何もしないでのんびり過ごすという回答も二割以上ありました。休日などには、食事やショッピングに出かけるという方（三二・

六％）も多いようです。全体に占める中高年齢層の割合が高いことはありますが、一般的に余暇時間は自宅で過ごす方が多いようです。また、女性の比率では男性が四三・七％、女性が五二・九％、また年齢構成は四十代が最も多く二十一・五％、続いて六十代十九・三％、五十代・七十代は同率で十六・七％と四十代以上の方が全体の七割強を占めていました。



いつまでも健康であることはだれもが願うことです

図1-1 平日の余暇の過ごし方

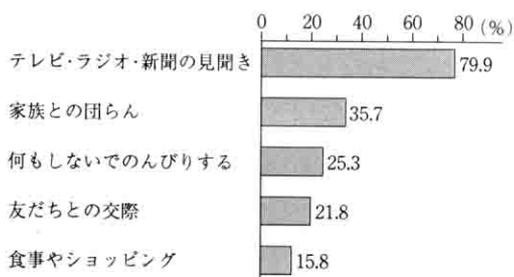
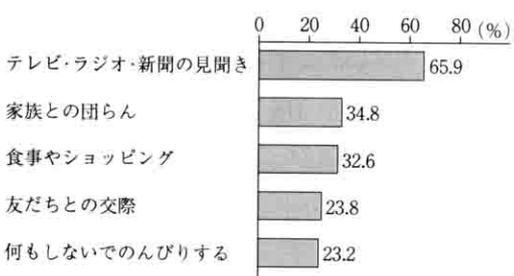


図1-2 休日の余暇の過ごし方



# 社会福祉や福祉教育の考え方

社会福祉とは、ひろく国や地方公共団体等が、生計の困難な人や身体に障害を持つ人あるいは知的障害を持つ人などに対し必要な救済をして、その生活を向上し憲法の保障する健康で文化的な生活が確保できるようにすることとされていますが、これを踏まえてみながら、社会福祉についてどのように考えているか尋ねたところ、結果は次のようになりました。(図2)

①社会福祉を必要とする人には人間の豊かな人が手をさしのべる。  
 ②社会福祉を必要とする人は、周りの援助に頼らずに自分で努力する。  
 ③社会福祉を必要とする人には、国や地方公共団体が十分な援助をする。  
 ④社会福祉を必要とする人は家族や地域社会で助け合うのがよい。

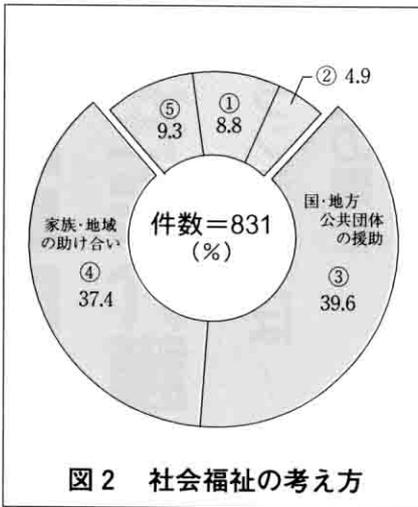


図2 社会福祉の考え方

⑤わからない・その他・無回答  
 社会福祉を必要とする人に対する援助は、国・県・市町村の役割と考える方が三九・六%、また家族や地域社会で助け合うのがよいという方が三七・四%と合わせて八割の方は広く周りから援助することが必要であるとしていました。

## 福祉教育は あらゆる場で

高齢者や障害者が安心して共に暮らせる社会を築いていくためには、子どものころから福祉に対する理解を深め、優しさや思いやりの心を育てる福祉教育を推進する必要があります。調査の結果ではこれを進めるには学校、家庭、地域等あらゆる場で取り組むことが望ましい(七七・九%)と考える

方が多数を占めていました。いまの子どものちが社会の中心になるころには、超高齢社会を迎えます。「学校」ばかりではなく「家庭」や「地域社会」での教育力を高め、豊かな心を育む福祉教育の推進は不可欠なものとなるでしょう。

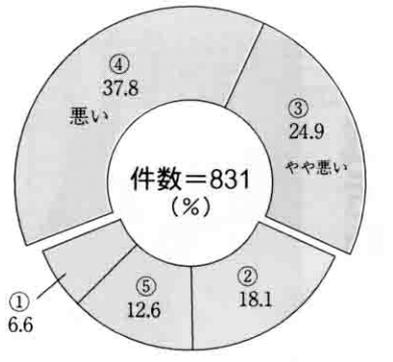
## 地域福祉の在り方

### 高齢者や障害者・幼児が 安心して暮らせるが

地域福祉とは、地方公共団体、社会福祉法人、医療機関、ボランティア、地域住民などが連携して、社会福祉の対象者を地域全体で包括的に援助していく考え方とされていますが、現状の社会生活の中で安心して暮らせる環境があるのか尋ねました。

「車道の広さ」についての評価では図3-1のとおり、「やや悪い」「悪い」という評価が合わせて六割強ありました。①よい・ややよい・わからない ②普通 ③やや悪い ④悪い ⑤無回答

図3-1 車道の広さの評価



(図3-2) このことは、福祉教育についての回答結果でも見られ、社会の中で理解はまだ不十分であり、理解促進にいつそう力を注ぐ必要があることを感じているものと考えます。

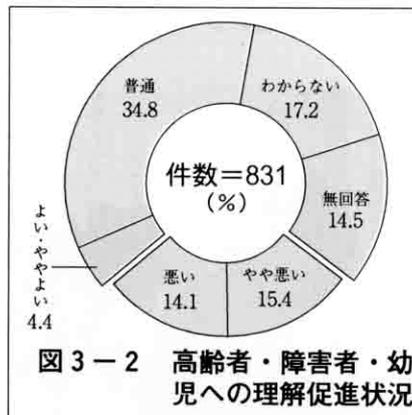


図3-2 高齢者・障害者・幼児への理解促進状況

困っている高齢者や障害者、幼児を見かけた時、どんな対応をしたかという設問には、多かつた回答は次のようなものでした。

①電車やバスで席をゆずったことがある(六九・七%)  
 ②危ない所で遊んでいた小さい子どもを注意したことがある(五九・〇%)  
 ③荷物が重そうなので、持てあげたことがある(三六・五%)  
 ④けんかをしてた小さい子どもを止めたことがある(三一・六%)  
 ⑤手をつないで信号を渡ったことがある(二三・七%)

困っている人に、手を貸してあげることは簡単なようで難しいものです。何を必要としているのかを理解して、状況に応じて素直に実践する努力は、心が通い合った住みここのよい環境をつくっていくために大切なことと言えます。地域の社会福祉を進めていくうえで、みなさんはどんなことが重要かを尋ねた設問では、最も多かった回答は、「町民一人ひとりが、弱い人に対して思いやりの心をもつこと」が五三・四%、次に「福祉教育の推進」が四五・〇%という結果になっていました。

# 在宅介護と家族・地域社会

## ボランティアは

### 無償の奉仕

ボランティアについては約九割の方が知っていました。また、ボランティアとはどんなことをするものなのかについて回答では次のような結果がみられました。(図4)

① 恵まれない人や困っている人を助けること。(二二・六%)

② 人間的な成長や生きがいを求めて自主的に行動すること(二二・四%)

③ 地域の人々が共に助け合っていること(二七・二%)

くこと(二七・二%)

④ 住みよい社会をつくるために、無償で奉仕すること(三七・四%)

⑤ 行政のできないことや、まだしていないことを補っていくこと(四・四%)

⑥ その他・わからない・無回答(五・六%)

しかし、実践面においては、地域の祭りや町内会・自治会活動、子ども会活動などには「参加している」「したことがある」方は多く、福祉施設での活動

ボランティアは住みよい社会つくる無償の奉仕

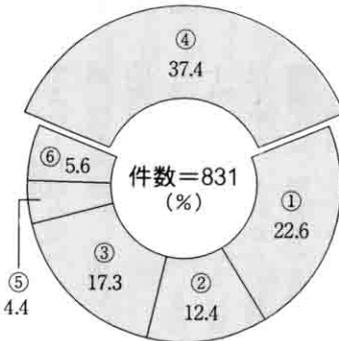
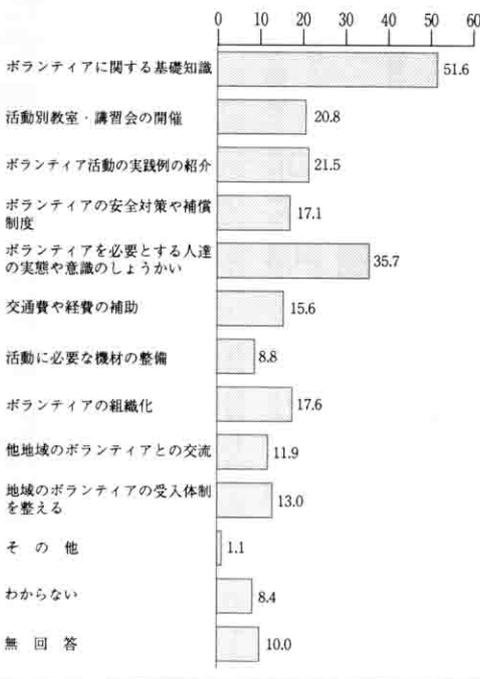


図4 ボランティア活動の考え方

## ボランティア活動の活性化に必要なことは



高齢者の世話、障害者の手助けなど専門的な技術が必要なものや個人的なかわりの生じるものには「参加している」「したことがある」方はきわめて少ないという結果でした。また、今後ボランティア活動を活性化するには、どんなことが必要かを尋ねたところ、多かったものは「ボランティアに関する基礎知識」(五一・六%)、「ボランティアを必要とする人達の実態や意識の紹介」(三五・七%)などでした。多くのみなさんは、ボランティア活動を経験していない人たちに對する基礎的な部分の理解啓発やはたらきかけが必要であると考えていました。



これからの社会ではやさしさを育てる福祉教育は大切

## 地域活動の参加は消極的 近所付き合いは希薄に

地域活動の参加状況の設問では、六割の方が「参加したことはない」「参加したことはない」と回答した。また、今後の意向でも「誘われれば参加」(四五・四%)、「あまり参加したいと思わない」(三八・五%)と消極的な傾向が見られました。

地域の隣近所の付き合いはどの程度かとの設問の中では、「訪問し合ったり、悩みごとを相談したりしている」とある程度深い付き合いをしている方は一七・九%と全体に占める中高年齢層の回答者が多かったにもかかわらず、低い結果でした。将来に向かって地域が一体となったケアをめざすためには、それぞれの地域の中で近隣関係を見直し、連帯を深めながら、相互に助け合える環境をつくっていくことが課題といえるでしょう。

# 親との同居や老後の生活

親または配偶者の親の有無ではあるという方が六一・七％、さらにその方たちを対象に親との同居意向について尋ねたところ、次のような結果になりました。

- ①すでに同居している(四三・九％)
- ②同居したい(二八・八％)
- ③同居はしないが近くに住みたい(二五・〇％)
- ④わからない(五・五％)
- ⑤同居したくない(五・一％)
- ⑥その他・無回答(二・七％)

「すでに同居」と「同居したい」を合わせると七割以上という結果から、将来的にも町全体における家族形態の傾向に大きな変化はないと考えられます。一方「同居したくない」と答えた方の理由として「別々に住むほうがお互いに気楽

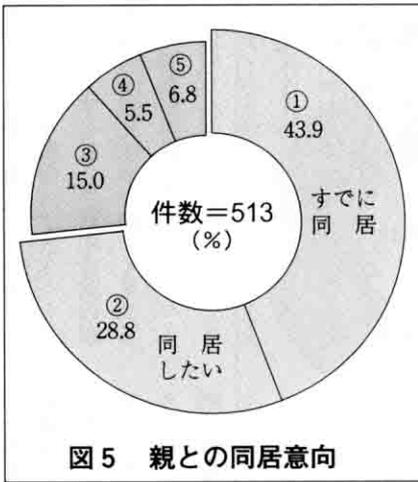


図5 親との同居意向

「別々に住むほうがお互いに気楽だから」(四六・二％)。「親が他の兄弟姉妹と同居中」(三八・五％)。「物事の考え方や生活習慣が合わないから」(三〇・八％)でした。他に「家族の負担が大きい」「親との人間関係」などがあげられていました。これらのことから「同居したくない」理由として親とのコミュニケーションに不安があることは明らかです。

現在、町の高齢化率は二〇％を超えており、この率は今後も上昇を続けていきます。そうした中で高齢者(六五歳以上)のいる世帯が全世帯に占める割合も、これからさらに増加することは確実です。一方、各世帯の就業構造は兼業化が進み、外に職場を求めている家庭が多く、さらに若い世代では夫婦共働きや後継者が家を離れて就職するケースが増えています。こうした中で、親と同居している、あるいは同居は望んでいないものの現実的問題として、日常的に独居と同じような生活を余儀なくされることも考えられます。

## 不安が 6割超える

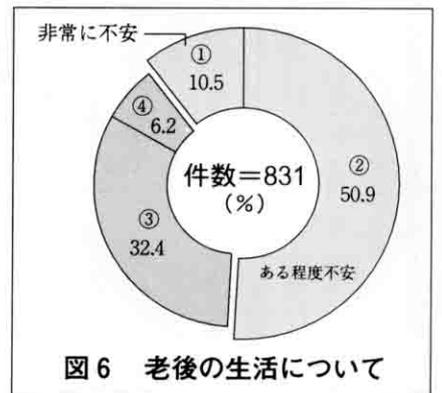


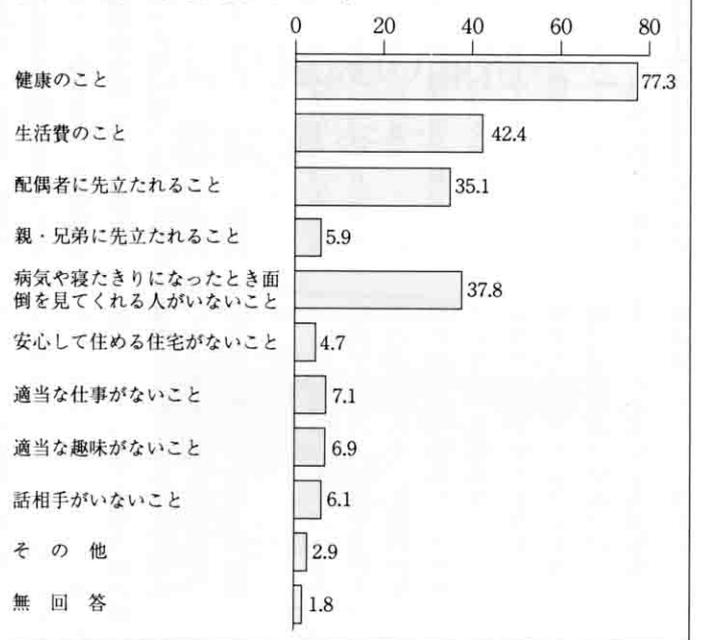
図6 老後の生活について

## 6割超える

老後の生活について不安を感じるかを尋ねたところ、図6に示した通り「非常に不安」「ある程度不安」と感じる人は合わせて六一・四％という結果でした。また、その人たちはどのようなことに不安を感じているのかについて、次のような回答結果でした。(図7)

これを見ますと、健康上の不安と生活費など経済的な面に不安を抱いている方が多数ありました。また、病气や寝たきりになったとき、面倒をみてくれる人がいないことに不安を感じている方も多いようです。この中には、親子同居世帯であっても、将来介護などが必要になったときには難しい状況があり、不安を感じていること

(図7 何に不安を感じるか)



## もし寝たきりになったら

## 在宅で配偶者の介護を望む

もし寝たきりになった場合、みなさんはどんな介護を望んでいるかという点では、「在宅」あるいは「在宅」で公的サービスなどを

利用して暮らしたいという回答が半数以上(次項図8)でした。また、在宅でもおもに見てもらいたいのは配偶者(五〇・四％)次に同

が推測できます。これからの高齢者福祉施策の要望には、こうした不安を解消しながら、老後も安心して暮らせるようにとの意向があらわれていました。回答の比率が高かったものをあげてみますと、①年金・福祉手当などの所得保障(四六・三％) ②緊急時の医療対策の充実(三三・六％) ③移動入浴サービス・デイサービスの充実(三二・〇％) ④老人ホームなどの生活施設の充実(三〇・〇％) ⑤ホームヘルパーや訪問指導の充実(二八・三％) などがありました。

図9 各種福祉サービスの利用意向 (%)

	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない	無回答
デイサービス	38.6	31.4	30.0
ショートステイ	36.2	32.4	31.4
給食サービス	42.0	29.4	28.6
移動入浴サービス	54.8	20.2	25.0
町の訪問指導	53.3	20.6	26.1
ホームヘルパーの派遣	54.5	20.9	24.5

※ホームヘルパーの利用希望時間で最も多かったのは2～4時間未満(35.4%)。どんな仕事をしてもらいたかについては「家族への介護方法等の指導」(49.1%)また、「話相手」(42.6%)という回答も多数あり、老後の精神的な不安を心配している方が多いことがうかがえます。

在宅介護希望55%

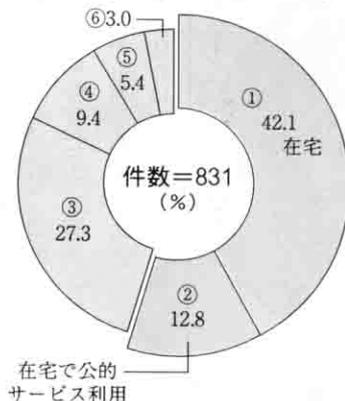


図8 介護要望について

居の息子・娘夫婦(三六・六%)となっていました。また、サービスの利用意向の回答状況(図9)を合わせて見ますと、現在町が行っているヘルパー派遣やデイサービス、ショートステイなど、介護支援のための在宅福祉サービスは、「利用したい」と考えている方が、「利用したくない」という方を上回っており、これから利用度はいっそう高まってくるものと考えられます。今後各種福祉サービスの内容を充実させる一方、地域での助け合いや行政における保健・福祉分野さらに医療機関との連携を図り、在宅での生活を支援する体制づくりを進める必要があるでしょう。

## 福祉サービスの経費負担

公的な福祉サービスを考えても、現在町の総人口のうち五人に一人、二割が高齢者(六十五歳以上)という現実があり、これからさらに増加してきます。それに伴って福祉サービスを提供するため経費も徐々に膨らんでいきます。さて、こうした現実の中で、福祉サービス利用の経費負担について、みなさんはどのように考えているのか尋ねました。結果は図10に示したように、「利用者本人が所得に応じた負担をすべき」という方は四四%でした。

- ①経費は行政が負担すべきである。
- ②経費は利用する本人・家族が全額負担すべきである。
- ③経費は所得に応じて利用する本人が応分の負担をすべきである。
- ④その他

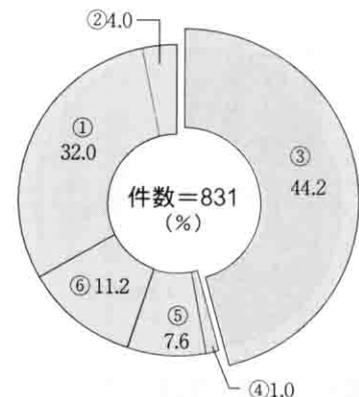


図10 福祉サービスの経費負担

入浴サービス・デイサービスのような在宅生活支援施設の充実(二〇・五%)などがあげられます。この結果から、障害者福祉では、在宅での生活を援助しながら社会の中で自立していくための支援策が求められています。一方、共に生活していくには福祉教育の推進とノーマライゼーションの

これら施策の中では、教育問題に関する悩みの相談を受ける教育相談室の開設や、保育所の延長保育が試行的ではありますが始まっています。核家族や少子化の進展、女性の就業形態の多様化の中で、将来を託す子どもたちを育てるため、保育施設の整備や内容の改善をはじめとした児童福祉施策の取り組みは、いっそう重要になります。

- ⑤わからない
- ⑥無回答

また、将来的に増大する福祉サービス需要の財源として、国がすすめている公的介護保険制度の導入に関する問いには①賛成三三%、②保険料の負担が重くなければ賛成四三%、③反対二二%、④わからない二五%、⑤無回答〇七%という回答がありました。(図11)

## 施策の要望

### 障害者・児童福祉に望むこと

障害者福祉施策について多かったものでは、①年金・福祉手当など所得保障(三七・四%)、②障害者施設の充実や民間作業所への援助(二七・二%)、また、雇用機会と就労対策の充実(二三・八%)

浸透が大切になります。

- ③緊急時の医療対策の充実(二二・九%)
  - ④ホームヘルパーや訪問指導の充実(二二・二%)
  - ⑤移動入浴サービス・デイサービス
- 児童福祉施策については多かったものは、①児童館・遊び場などの施設の充実(四六・六%)、②いじめ、不登校問題についての施設充実(三二・二%)、③保育所の延長保育(二六・〇%)、④保護者のいない子どもへの支援(二四・一%)、⑤育児に関する保健・福祉相談(一九・〇%)

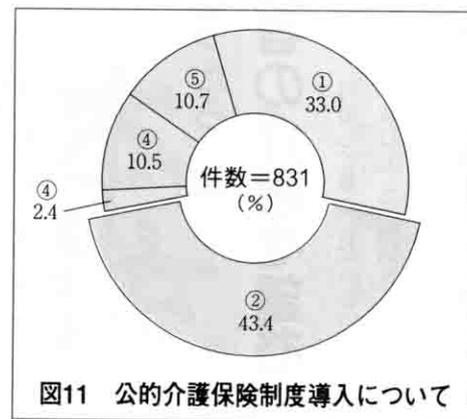


図11 公的介護保険制度導入について

# 町のおもな在宅福祉サービス

○保健指導訪問 保健婦が家庭を訪問、看護や介護の指導、保健・医療・福祉面の相談に応じます。

○介護相談 介護に関する相談及び保健福祉サービスの利用申請手続きの代行や介護機器の展示。電話による相談のほか自宅訪問もします。特別養護老人ホームに併設されている在宅介護支援センター（以下の説明で介護支援センターとします）が窓口で費用は無料。

○ホームヘルプサービス 日常生活を営むうえで支障があるお年寄りや重度の障害者などの家庭をホームヘルパーが訪問し、家事、介護、通院介助などを行います。

○デイサービス おおむね六十五歳以上の要援護や身体障害者であって、身体が虚弱または寝たきり等のために日常生活を営むのに支障がある方に、送迎付きで入浴・給食・日常動作訓練等を行います。

○シヨートステイ 寝たきりの高齢者などを介護している家族の方が、病気や介護疲れなどで、介護できなくなった場合、一時的に特

別養護老人ホームなどでお預かりし、お世話します。期間は七日間。事情により延長可能です。窓口は福祉課・介護支援センターで費用は一日当たり二千九百九十円です。

○老人ホーム入所 原則として六十五歳以上で、つねに介護が必要であるが家庭で何等かの事情により介護が受けられない場合入所できます。窓口は福祉課・介護支援センターで費用は、本人の収入額と扶養義務者の所得課税額に同じ負担となります。

○移動入浴 家庭において入浴が困難な寝たきりの人、障害者などのいる家庭に入浴車を派遣して入浴サービスを提供します。窓口は福祉課・社会福祉協議会・介護支援センターで費用は無料。

○日常生活用具の貸付 寝たきりや独り暮らしのお年寄りに日常生活に必要なベッド・車イス・エアパットなどを貸付します。窓口は福祉課・介護支援センターで費用は所得税非課税世帯は無料、課税世帯は負担があります。

○日常生活用具の貸与 寝たきり老人等にギャッチベッド・車イスを貸し出します。窓口は社会福祉協議会・介護支援センターで費用は無料です。

○高齢者住宅リフォーム助成事業

寝たきり老人や介護を要する痴呆性老人のために住居の改造に要する経費を助成するものです。

補助率は、補助基準限度額は七十万円で窓口は福祉課・介護支援センターです。費用として自己負担となります。

○給食サービス 六十五歳以上の独り暮らし老人に月一回昼食（お弁当）を配達して、安否確認や孤独感の解消を図るものです。窓口は福祉課・社会福祉協議会で費用は無料です。

○地域ケアシステム推進事業 お年寄りや身体障害者等の一人ひとりに地域の方々や医療・保健・福祉の専門分野の人たちが連携をとりながら、きめ細かな在宅福祉サービスを行います。窓口は福祉課・社会福祉協議会・介護支援センターで費用は無料です。

○障害者タクシー券助成 自動車税の減免を受けていない、身体障害者手帳一、二、三級、療育手帳(A)、Aの所持者に六百六十円までのタクシー券二十四回分(年間)を補助します。なお、透析実施者は四十八回分(年間)を補助します。窓口は福祉課です。

◆各サービスの問い合わせ 役場福祉課・社会福祉協議会(☎四三一一一一) 保健センター(☎四三二六六五五) 在宅介護支援センター(☎四三二〇八一)へ

## 6月定例議会

### 温泉施設の陳情など 継続審査に



八郷町議会第二回定例会が、六月十七日招集され、二十四日まで八日間の日程で開かれ、提出された案件は、報告でフラワーパーク・ふれあいの森の予算決算報告ほか四件でした。議案は予算関係が、九年度一般会計、老人保健、下水道特別会計は歳入歳出それぞれ四三六万七千円を補正増して総額を九億四三六万七千円としました。条例の関係では、行政手続条例制定、消防団員退職報償金の支給条例改正ほか二件などがあり、合わせて十件の議案はすべて原案のとおり可決承認されました。また、各常任委員会に審査が付託され審議された陳情案件は、次のとおりでした。

温泉施設の建設(九号)・温泉入浴施設の整備(十二号)に関する陳情、中学校教科書における「従軍慰安婦」についての歴史的叙述を削除することなく歴史的事実に基づいた歴史教育が推進されることを求める陳情(八号)、「遺伝子組み換え食品の表示」と「輸入禁止を求め」意見書の提出を求める陳情(十号)、畜産公害防止改善に関する陳情(十一号)は、引き続き慎重に審査する必要があります。また、議案提案の「郵政事業の分割民営化に反対する意見書」は原案のとおり可決されました。

# 霧田気も95点、完璧ですわね先生!

今月は、柿岡小学校六年一組担任の三輪章夫先生を訪ねました。



三輪章夫先生

先生は地元柿岡出身、学校にはきわめて近いところに住んでいます。小さいころはだれもが抱いていた夢「プロ野球のスター」、先生も同じでした。教師になろうと考え始めたのは高校時代。将来の進路を決める時期にりっぱな先生との出会いがあったから。

スポーツは、バスケット、バドミントンをはじめとしてほとんどをこなすスポーツマン。

子どもたちの様子をお聞きしたところ、「明るくて積極性があります。研究会などでほかの方が授業を見に来られた時でも、すずんで発表するなど、意欲的に取り組んでくれるのでこちらは助かっています」と話していました。



柿岡小学校6年1組のみなさん

Q 先生の失敗談などは?

A 怖い話を始めたわけが途中で脱線しておかしな話に変わってしまうことがしばしばあります。みんなに乗せられやすいのです。

Q クラスの目標は?

A 思いやりを持って仲良くすること。現状を採点すると九五点くらいかな。

Q 先生へのお願いは?

A クラスの霧田気も良くみんな満足していますが、できるなら宿題を減らして。

先生とクラスのつきあいは二年目、そんなこともあって「お互いによく知り尽くしていますので心のつながりもでき、悩みなども話してくれそうです」と良好な関係に自信があるようでした。そうした中でこれからの抱負は「学力をつけるのは基本ですが、集団生活なので思いやりの気持ちを大切にして、自分自身で計画を立て、自主的に行動できる力を伸ばしてやりたい」とのこと。

また町に対しては「旧役場跡地あたりに図書館ができるといいですわね。子どもたちの研究や学習意欲の向上にもつながるのでは」と要望を語っていました。

クラスのみなさんにインタビューしましたので紹介します。

Q 先生のいいところやすごいなと思うところは?

A とてもユニークでお話もうまい。そしてスポーツは万能です。

Q 先生はどんなことに厳しい?

A 先生が厳しく言われるのは、人に対する思いやりが大切、いじめや人を差別するようなことは絶対してはいけないということです。

Q 先生の失敗談などは?

A 怖い話を始めたわけが途中で脱線しておかしな話に変わってしまうことがしばしばあります。みんなに乗せられやすいのです。

Q クラスの目標は?

A 思いやりを持って仲良くすること。現状を採点すると九五点くらいかな。

Q 先生へのお願いは?

A クラスの霧田気も良くみんな満足していますが、できるなら宿題を減らして。

## AET (英語指導助手)

## イングリッシュコーナー

I have enjoyed teaching in Yasatomachi because the students are very clever and kind. This past year they have practiced English conversation with me and their English is very good.

I hope that the students in Yasato will continue to speak English with foreigners.

My advice to junior high students is to practice speaking English with many people. If you see foreigners in Yasato or another place, please speak to them, its good practice! Also, you can speak English conversation with your friend. English is fun and useful!

So, now I will study more about Buddhism and shinto the religions of Japan. I will go to graduate school and hope to come back to Japan soon.

八郷町の生徒のみなさんは、とても利口で親切なので私は楽しく英語を教えることができました。この一年、生徒のみなさんはわたしと英会話を練習し、英語がとてもじょうずになりました。

八郷の生徒のみなさんが、これからも外国人と会話をしつづけてくれることを願っています。

中学生のみなさんへのアドバイスとしては、できるだけたくさんの人と英語で話すようにすることです。もし、八郷や他の場所で外国人に会ったら、どんどん話しかけてください。それがよい練習になります。また、ともだちとも英語で話してみましよう。英語は楽しくて、役に立つものです。

私は、これからまた仏教や神道など日本の宗教について、もっと勉強したいと思っています。大学院を卒業したら、また日本に戻ってきたいです。

Kerry Sumpter  
ケリー サンプター

ケリー先生は、7月10日園部中学校での授業を最後に帰国します。中学生のみなさんへのアドバイスやこれからの先生の希望など最後のコメントをいただきました。日本語訳は園部中の稲田好子先生にお願いしました。



日本での最後の仕事は園部中学校

# あなたの意見を町づくりに反映

こととして十期目を迎えた町政モニター制度。このたび二十五人のモニターの皆さんが決まり、その第一回会議が六月二十五日、役場会議室で開かれました。

会議では、モニターの皆さん一人ひとりに町長から委嘱状が手渡され、秘書広聴課長から町政の概要についての説明や、皆さんからの意見交換などが行われました。

町政モニター制度は、皆さんのそれぞれの生活の中から気付いた町政に対してのご意見・ご提案を

いただき、それを町政に反映させ、豊かで希望の持てる町づくりに生かすものです。モニターの任期は委嘱された日から、平成十年三月三十一日までです。

モニター会議でのご提案やアンケートの結果などは次のようにまとめ町政に生かします。

一、モニター通信やモニター会議での意見・提案などについては、町づくりの企画や町政執行の資料にするほか、関係課に送って必要なものについては、回答をいたします。

モニターの皆さんに委嘱状が手渡されました



二、アンケートの調査結果は、町づくりの企画や町政執行の資料といたします。モニターの活動内容は、モニター会議、施設見学、モニター通信アンケート調査などです。モニターの皆さんにはこうした活動を重ね、「住民本位」の町づくりにご協力いただきます。

## ◎町政モニター紹介

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| 森 和久 (63歳・農業)   | 柿岡  |
| 中沢 とみ (67歳・無職)  | 柿岡  |
| 滝田 直子 (41歳・主婦)  | 柿岡  |
| 菊池 弘枝 (39歳・農業)  | 金指  |
| 小池 和義 (47歳・自営業) | 小幡  |
| 鴻巣多美子 (39歳・主婦)  | 小幡  |
| 高橋 貞子 (47歳・主婦)  | 小幡  |
| 木崎 広美 (48歳・農業)  | 上青柳 |
| 松井 與祐 (54歳・会社員) | 上曾  |
| 軽部 直 (70歳・無職)   | 上曾  |
| 岡野 任克 (49歳・農業)  | 吉生  |
| 増淵 悦子 (53歳・主婦)  | 太田  |
| 友部 章 (49歳・商業)   | 小見  |
| 友部富美子 (60歳・主婦)  | 大塚  |
| 島田 高雄 (46歳・農業)  | 野田  |
| 市村 公子 (52歳・主婦)  | 宇治会 |
| 伊藤 芳枝 (49歳・会社員) | 山崎  |
| 菅谷美枝子 (39歳・主婦)  | 宮ヶ崎 |
| 荒井 吉夫 (60歳・無職)  | 山崎  |
| 鈴木 孝子 (56歳・主婦)  | 東成井 |
| 加藤文美枝 (48歳・会社員) | 下林  |
| 市塚 悦子 (47歳・主婦)  | 片岡  |
| 原田 隆 (46歳・農業)   | 半田  |
| 仲原 武司 (45歳・農業)  | 川又  |
| 馬場 きみ (53歳・商業)  | 月岡  |

敬称略

## 花と緑の楽園 茨城県 フラワーパーク 夏の楽しい思い出に サマーフェア



昨年のかぶと虫狩り

「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークでは、夏休みの楽しい催し物として八月十七日までサマーフェアを開催中です。

内容としてはまず、「カブト虫狩り」を乗園者を対象に、ふれあいの森で行います。期間中の毎週火・木・土・日曜日にカブト虫などの昆虫採集をご家族で楽しんでいただけます。

なお、期間中世界各国のカブト虫などを展示する昆虫展、またカブト虫・クワガタ虫などの即売をするカブト虫特別販売もあわせて開催します。

また、毎年恒例のふるさとまつりを八月十四日から八月十七日までの四日間開催いたします。

まず、中学生以下のチビッコを対象にした「チビッコまきかし」を十四日・十五日に園内にて無料で開催します。一方、大人の方には夏の風物詩「水ヨーヨーつり」を一回五十円で楽しんでいただけます。

そして、小動物のふれあい広場を十六日・十七日にふれあいの森で開設します。うさぎ・やぎ・ひよこなどかわいい動物たちがやってきました。

なお、月曜日は休園日です。開園時間は午前九時から午後五時(入園は四時三十分まで)です。ご注意ください。詳しいお問合せは ☎〇二九九一四二一四一 へお願いします。

# 八郷の住まい探訪

(七)

## ——ブツペイ——

あの家はブツペイがいい、という表現を聞いたのは、二十年程前のことです。広い屋敷構え、樹齢を重ねた樹木、立派な門構えに堂々とした主屋。こうした目に見える姿に加えて、その家の永い歴史更には家人の手柄の好きなどの無形の事柄までも含めた総合的評価なのだ、というのです。

筑波山をグルッとひと巡りする地域に共通するらしいのです。大いに興味を引く表現ですが、今迄のところどんな漢字を宛てるのか定かではありません。人によってはブツペイと発音するようです。分配・物配・物柄でしょうか。

いずれにしても素朴なひと言葉全てをいい表すこの言葉は、いかにもこの地域に相応しいように感じます。もう少し深く調査研究するに値する言葉ではあります。

さて今回ご紹介する関野家は、まさにブツペイのいい家なのです。前述の条件を全て備えています。それに加えて長屋門の前に広がる田には秋ともなれば黄金の稲穂が波打ち、屋敷の背景には山並みを遠望することができます。

この主屋は、町内の古民家の変遷を知るうえで極めて重要な位

置を占めるものです。造り付け戸棚の舞良戸の背面に「嘉永七寅年十一月此家建」という

墨書があります。前年の一八五三年六月三日

には、浦賀にペリー提督に率いられたアメリカ

カ東インド艦隊が来航しました。いわゆる「黒

船現る」の大事件で、世情混乱の中にあ

りました。

佐久良東雄先生の歌

「かしこきや 大王の

辺に 事しあらば大刀

取りはきて こよひに

も出て行くわれを 大船の思ひた

のみて 妻子どもが寝たるを見れば

涙し流る」とあります。

そして翌年三月三日に日米和親

条約が締結されました。そうした

中でこの常陸国を巻き込んで全国的に農民による打ちこわし・強訴

が起きていたのです。



関野家の全景（小幡）

関野家の主屋はその世情の中で建設されたのです。ここには多分に「お助け普請」の様相がうかがわれます。これは天明・天保の大飢饉など難民が続出した時期をとらえて公的な黙認の中で、通常では認められなかったようなせいでな住まいを建てることなのです。詳しくは次回にしますが、ここで

は土間の梁組・大黒柱や差鴨居の太さに目を向けてください。更に重要な点は、大戸口の扱い方です。通常の場合は、大戸口は主屋前面の柱筋にありますが、ここでは四尺程引っ込んだ位置にあります。この方式はこれ以前の古民家には見られない新しい工夫です。「お助け普請」の性格上、この大工は北陸か東北から来た人かも知れません。そして出来るだけ大勢の人々が参加したことでしょう。これを期にして八郷の民家は一変したようです。つい最近建てられた住宅にもこの方式が採用されています。その点でも貴重な主屋です。

町文化財保護審議会委員 一色史彦

# ●最近気になる病気

## 脳梗塞

豊後荘病院

神経内科

望月

昭英医師



脳梗塞とは、心筋梗塞と同様に、血管が突然詰まってしまい血液が流れなくなる結果、その先の組織が死んでしまうことを意味しています。心筋梗塞では胸痛を訴えることが多いのですが、脳梗塞では詰まってしまふ部分によって様々な神経症状が現れます。一般的に、運動麻痺（筋力低下）、感覚障害（多くは感覚の低下であって、しびれは少ない）を、左右どちらか一方の半身に生ずることがよく見受けられます。その結果として、歩行や起立の困難感、食物の嚥下困難感、呂律が回らない、などのように日常動作が障害されてきます。

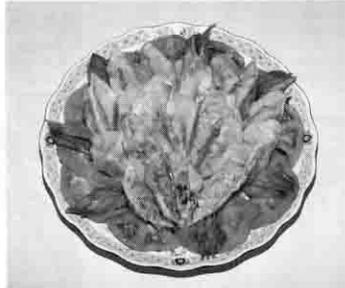
それはどのような原因で血管が詰まってしまふのでしょうか。大きく分けて、血管壁側の問題とその中を流れていく血液側の問題があります。血管は、加齢と共に内側に不要物が付着していきまふ。そのために次第に柔軟性が失われ細くなつてい

きます。これを動脈硬化といまふ。この動脈硬化は避けられない老化現象ですが、糖尿病、高血圧症・高脂血症・高コレステロール血症などの病気を持っていますと、十年も二十年も早くから血管が細くなり始めることになりまふ。もしこれらの余病があれば、お薬でできるだけだけ正常の状態に近づけておこななくてはいけません。その次に、血液側の問題があります。血液は濃縮されると血管の中を流れにくくなりまふ。喫煙あるいはアルコール・コーヒー摂取が習慣となつていまふと、脱水作用などにより血液は徐々に濃縮されていき、血管が詰まる危険性が高まつてい

きます。したがって、脳梗塞の発生を抑えるためには、これらの原因（危険因子）をコントロールし、水分をとって脱水状態を避ける（入浴後、特に夏場の運動後などに）ことが非常に大切となつてくることによく理解してください。

わたしの手料理

鶏肉の焼きギョーザ



食生活改善推進員 奥村登美子（東成井）

【材料】（4人分）鶏ひき肉 150g キャベツ 150g A〔長ねぎ（みじん切り）大きじ1 しょうが汁小さじ1 煮干しの粉3g しょうゆ 小さじ1 塩・こしょう少々〕 ごま油大きじ1 ギョーザの皮大1袋 サラダ油少々 トマト・キュウリ適量

【作り方】①キャベツはしんなりするまでゆで水気を切ってみじん切りにする。ボールに鶏ひき肉とキャベツ、Aの材料を入れ手で良く混ぜ粘りが出たらごま油を加えて混ぜる。②ギョーザの皮に①の具大きじ1をのせ周囲に水をつけて二つ折りにし包む。③フライパンに油を熱し、良くなじませてから別器にあけて、余分な油をふき、中火で焼く。④ギョーザの皮がきつね色になったら水きカップを加え、ふたをして5分焼きふたを取る。中火にして水分をとばしピチピチいい始めたら弱火にして2分位焼く。⑤キュウリは皮をむいて縦半分にし斜めに切り塩少々をふり、しんなりしたら水気をふく。トマトは皮をむいて5mm厚さの半月切りにする。皿にキュウリ、トマトを並べてギョーザをのせる。

我が家GOYU.こ

上曾

大湖 翼ちゃん

父 孝志さん 母 千恵さん  
平成7年7月23日生まれ  
♥家族からの一言

砂遊びや水遊びが大好きで、いつも外で元気いっぱい遊んでいきます。一歳くらいのおきからスイミングクラブへ通っているのですが、水にもぐれるようになってきました。これからは元気に育ってほしいです。



農村資料館

八郷の民俗資料

16



柳行李（やなぎこりり）

日常衣類などを整理収納する用具として、葛籠・簞笥・長持などの調度品とともに一般に広く用いられていたのが柳行李であるが、いま現在、家屋構造の変化、生活様式などの多様化で、生活用具としての価値を失い、かつての必需品も民俗資料として保存されている例が多い。

柳行李は、「杞柳・コリヤナギ」と呼ばれる柳の枝の皮を除いて乾燥させたものを一本づつ並べ麻糸で編み上げ、角の部分に布・皮を縫いかぶせて補強して作った箱状の籠で、大きさも二尺五寸×一尺四寸×七寸五分（約七五cm×四二cm×二三cm）ほどのものが多用されていたほか、特殊なものとして小型で携帯便利な弁当箱も作られている。

柳行李の起源については明確でないが、天正年間（一五七三〜九二）の頃には、すでに杞柳の栽培、製造が行われ、とくに寛文年間（一六六一〜七三）の頃に盛況をきわめたという。行李という名称については、当時の記録などから旅行に持っていく荷物から生じたことが知られる。また、宝永年間（一七〇四〜一一）の史料に、

△二百目の銀にて柳を買、手づから籠裏をつくりて是を売盡しと、あることから、江戸時代の後半以降になってからは、その利便性、耐久性に加えて安価なために需用はさらに盛んになったことがうかがわれる。

幕末から明治初期にかけての生産、販売の推移は定かでないが、ほとんど廃滅に近かったという。以来、欧米文物の伝

来、輸入の進展によって柳行李も皮、布製のカバン、トランク類へと需用の増加が一般化するようになり、その起死回生策として、明治一〇年（一八七七）に開催された第一回内国勸業博覧会に出品して販路の拡大と同業組合を設置して製品の改善を計ったことが要因となって、再び盛況を導いたようであるが、明治三十年代の頃からは需要が衰退の一途をたどるようになった。

なお、弁当箱として重宝されていた行李も、この頃からアルミ製品（銅にアルミニウムを加えて作った合金）に取って代わられるようになる。現在、広く用いられているポストンバッグは関東大震災以降、大正末期の頃から普及したという。

町文化財保護審議会委員 西宮 一男



うさぎ



瓦谷 鈴木 佑実 (10)



飛 唯 空



小見 吉田 貴利 (11)



木 崎 梨 恵



私も  
ひまわり

先 日総合健康診断の申し込みについて、毎年欠かさずに受けている者なので今回も連休明けに申し込みました所、受付開始と同時に人数に達したので無理と言われて残念でした。

健康は誰もが望んでいることです。先着順等と言わずに申込者が全員受けられるように願いたいものです。各地区別に何回かに分けて行ってほしいものです。いつも健康でありたい主婦  
 ♣ 町では基本健康診査をはじめ、各種がん検診を地区別に行っています。しかし、ご指摘の総合健診は年一回なので受診者も限られてしまいます。各地区でも行えば良いのですが、大型バスを使用するため、場所の確保が難しい問題です。町では現在の年一回を回数を増やすよう検討しています。ど

習字コーナー

評 (助)独立書人団 審査会員 翠崑書院 関 翠 邸

南中一年 萩原康世

柿岡小四年 藤 千絵美

青い空  
谷川  
前中一年 萩原康世

ゆったりと丁寧な筆使いで、やさしいお姉さんのような感じですが、集中力もあります。

本流  
藤 千絵美  
柿小四年

いきこみよく書き振りも力強い。このまま大いになんばっていきましよう。

うかご了承ください。

保健室

高

校生の子どものバイクと車が軽くぶつかる。車に乗っている人は子どもに「大丈夫?」「大丈夫だよ」子どもが転倒しているのに、そのまま走って去って行く車。もし、そのバイクの子どもの自分子どもだったら、その人はどう思うのだろうか。車から降りず走り去れるだろうか。面倒な事は嫌だと思ひ、そのまま去ったのだからうけど。車を運転している以上責任を持つてほしいです。誰も見ていないからじゃなく、まだ打撲ですんだから良かったけどもつとひどかったらとぞつとします。高校生の子を持つ親より

♣ 車はとても便利ですが反面、凶器に変わります。ドライバーはハンドル

水

道検針通知を見て、料金がいつもしもより安すぎるのにビックリ、

「メーターの読みちがいか」と、水道課に問い合わせ、確認してもらったところ「メーターの老朽化」と言われ、メーターを交換しました。黙っていたら、安い料金のままだったかもしれないとチョッピリ反省。いや、町内には、老朽化に気づかず使用している人もいるだろう。不公平のないように点検をお願いしたい。匿名希望  
 ♣ 現在、老朽化したメーターの定期的な交換を順次進めるなどして、公平な検針に努力しています。水道課

全問正解者のなかから  
抽選で図書券が当たるよ

# 広報クイズ 112

3つの答えの中から正解を選び  
ハガキに書いて送ってください。

①今月の特集は何？

- (A) 介護意識調査
- (B) 福祉意識調査
- (C) 家庭意識調査

②では①の調査の回収率は？

- (A) 69.3% (B) 79.3%
- (C) 89.3%

③第10期町政モニターの人数は？

- (A) 15人 (B) 20人
- (C) 25人

### 【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ112と書き、  
答えの記号(例1-A)、住所、氏  
名・年齢・世帯主と「私もひとこ  
と」へのご意見や広報の感想など  
を書いて送ってください。イラスト  
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図  
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成9年8月20日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡  
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙9月号

### 【広報クイズ110の当選者の発表】

正解は1-A、2-B、3-Aでした。  
応募総数54通、正解51通の中から  
次の10人が当選しました。

- 藤岡京子(太田) 藤原信子(下林)
- 斎藤輝子(吉生) 郡司勉(瓦谷)
- 桜井洋子(山崎) 関口由委(金指)
- 本澤友子(山崎) 萩原志づ(月岡)
- 入江悠(大增) 市村美幸(小見)

〔敬称略〕



瓦谷 郡司 千亜希



悠 雅 兔 魄



マ リ ア

## ●やさと文芸

### 短 歌

吉田 次郎 選

バラ園で肩を叩かれ振り向けば幼きころの友と出逢えり

東成井 小島 せん

真向かいの小高き杜の椎若葉眩しき程に光り輝く

月岡 萩原 照子

盛り上がる木々の若葉の緑濃く風に揺らぎて陽に映えて見ゆ

弓弦 塚田 きよ

### 俳 句

綿引 鼓峰 選

万緑の中を流るる恋瀬川

大塚 友部 ゆき江

梅雨出水あとの草伏す恋瀬川

柿岡 岩田 ただし

その中の白に艶あり花菖蒲

真家 長谷川 雅 吾

### 俚 謡

鈴木 弦月 選

四方の山々新緑萌えて夏を呼び込む五月晴れ

大塚 友部 ゆき江

小田の案山子を単衣にしよつかボロの厚着じや辛かろう

山崎 井川 正 男

照る日曇る日刻んだ皺も皆んな知ってる古鏡

下林 吉川 霞 郷



柿岡祇園祭はこの頃もたくさん  
の見物客で賑わいました。祭りを  
楽しむ人の気持ちは今も昔も変わ  
りありません。  
(昭和三十四年当時)

## やさメモリー

# 「まち」の「話題」で「きごと」

身近な出来事や地元の話題をおよせください  
 (連絡先・秘書広聴課内線一三四三)



## 上曾の山中に清涼感漂う滝

上曾峠へと登る道途中から、きのこ山の方へ山道をしばらく登っていくと、清涼な滝があります。全長二十メートル、一番大きな落差が三メートルほどの滝は圧巻です。そこは五十年くらい前は共同

の茅場だったとか。その昔、滝の水は茅を刈りに来た人たちの乾いたのを潤したことでしよう。涼しい音はあたりの緑と溶け合って、山の自然を実感させてくれます。

## 球技で汗を流し健康増進

六月一日、林地区公民館主催によるレクリエーション大会が開かれました。今年で二回目になる大会には地区民およそ百名が参加、林小学校体育館とグラウンドを使ってソフトボールとソフトバレーの二種目に分かれ汗を流しました。

この大会の目的は、日頃の運動不足を

解消して健康増進を図ることと併せて、地区民相互の親睦を深め、よりよい地域づくりをめざすものです。こうした機会を通してふれ合い、気持ちを一つにして住みよい地域社会を築いていくことは大切なことでしょう。

## 元気はつらつクロケット大会

春季町民クロケット大会が六月十三日、総合運動公園で開かれました。大会には四十チーム、百三十人が参加、四ブロックに分かれて勝敗を競いました。

結果は次のとおりです。

〔Aブロック〕▽優勝芦穂第四A▽準優

勝小幡B▽三位サクラA〔Bブロック〕  
 ▽優勝小幡A▽準優勝山寺谷島▽三位東成井三〔Cブロック〕▽優勝林鈴木▽準優勝日向▽三位山寺桜井〔Dブロック〕  
 ▽優勝部原横田▽準優勝園部第二C▽三位小幡C

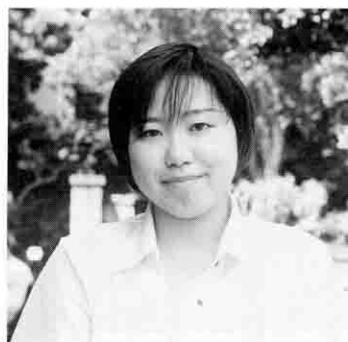


ときめき  
 ティータイム



長谷川泉(山崎・20歳)さん

音楽が好きなので、友だちとコンサートに行ったり、カラオケを楽しんだりしています。



ありがとうございます

○園部中学校へ飾り棚  
 園部中学校第五〇回卒業生  
 ○園部中学校へ  
 アップライトピアノ

田口 実





## 0-157について学習会

八郷町くらしの会は六月十日、土浦保健所から講師を招き、「今年0-157の現れ方と対策について知る」をテーマに保健センターで学習会を開催しました。学習会では0-157の恐ろしさや食中毒についての基本的なこと、また具体的な予防法などについて知ることができ、参加者は熱心に耳を傾けていました。八郷町くらしの会は、生活者として身

近な消費生活の問題について学ぶために学習会や見学会を毎年企画しています。商品研究、ごみの分別収集、生活排水と霞ヶ浦の水との関係などは大きなテーマとなっています。また、その他の活動として、小物作りや、料理実習なども行われ、ふれあいまつりには「消費生活展」として参加しています。興味のある方はぜひご入会ください。

## みことなまつき50点が展示

八郷盆裁会主催によるまつきの展示会が六月三日から七日まで、中央公民館ロビーで開催され、丹精こめて育てられたまつき五十点が展示されました。

〔入賞者〕▽農林水産大臣賞 大関久▽県農林水産部長賞 鶴井昭▽県南総合事務所長賞 高橋正躬▽県議会議員賞 大塚章▽八郷町長賞 本多三武郎▽町議会

議長賞 小松崎正一▽町盆裁会長賞 武熊正己▽町観光協会会長賞 小森勝男▽町農業委員会会長賞 額賀喜四郎▽町教育長賞 小橋君一▽県フラワーパーク園長賞 上田忠藏▽町商工会会長賞 久保田晃寿▽常陽銀行柿岡支店長賞 鈴木光一▽石岡信用金庫柿岡支店長賞 河合定男▽町盆裁会長上田賞 額賀勇三 敬称略

## 在宅介護の負担を少しでも軽く

七月は在宅福祉月間です。急激な超高齢化社会に伴い在宅介護の必要性が高まり、町でもこれを支援してさまざまな在宅福祉サービスを行っています。

この一環として家庭介護者のつどいが七月六日、役場会議室で開催されました。

当日は町の福祉サービスのPRや、「在宅介護の在り方」をテーマにした講演、介護相談などが行われました。つどいは日頃寝たきりのお年寄りを、自宅で介護している家族などおよそ八十人が参加講演などに真剣に耳を傾けていました。



介護機器を見学する参加者のみなさん

## 新治郡体育大会

新治郡体育大会が六月一日と八日に開催され、町の総合運動公園でも弓道とターゲット・バードゴルフが行われました。町出場者の結果は次のとおりです。

- ◎ターゲット・バードゴルフ団体優勝▽個人シニア①山崎芳男②久保田芳男③須藤泰次▽個人レディース・ゴールドシニア①底節子②森山儀次③飯島はつ子 ◎ソフトテニス総合・男子・女子各三位◎バレーボール青年男子優勝 ◎柔道団体準優勝▽小一①秋之谷藍②川崎好胤▽小二①小松本周作②泉聖子③田村恵里▽小三①泉江里子②秋之谷旭③田村歩美▽小四③齊藤信樹▽小五①水野真実②富田歩▽小六②泉秀明③鬼沢圭輔▽一般68kg以下③小松崎孝幸▽69〜75kg①小松崎浩一②上田健一 ◎弓道団体優勝▽個人総合①永吉努▽個人射撃①永吉努②大波正▽個人競射①永吉努②高橋昌子③大波正 ◎卓球団体準優勝▽個人一般男子①中島昭一▽個人一般女子②佐藤順子 ◎バドミントン▽女子ダブルスB②大岡・鈴木組 ◎バスケツトボール総合・青年女子各優勝

敬称略

# 国民健康保険税が

## 変わりました

国民健康保険は私たちの生活に欠かすことのできない社会保険制度です。もしこの制度がなかったら、私たちが病気やけがをした時、医療費はとも高額のものとなるでしょう。

さてこのたび、第一回定例会議会で国民健康保険税の一部が改正され、税率や限度額が引き上げられることになりました。その概要をお知らせします。



医療費のむだをなくすには、皆さんが健康であることが最も大切です。健康状態のチェックには健康相談や健康診査を利用し、健康づくりに役立てましょう。

国保（国民健康保険）は、地域の皆さんがふだんからお金を出し合って、病気やケガをした時の医療費などを負担する、助け合いの制度です。

国保は町が運営し、収入は主に皆さんから支払われる保険税や国・県からの補助金などです。一方支出はその大半が医療費のため、収入が足りないからといって支出を削減することはできないのです。

医療費は年々増え、なかでも老人医療費の占める割合が多くなり、国保財政の緊迫する原因となっています。そのため、町では医療費の適正化を図ろうと、国保加入者へ医療費の通知を出すなどの特別対策事業に取り組んでいます。

それでもこのまま医療費が増え続けると、皆さんが納める保険税の負担も増えていきます。医療費のむだをなくすためには普段から自分の健康状態に気を付け、健康に過ごすことが大切です。皆さんのご協力をお願いします。

### 〔改正のあらまし〕

#### 1. 改正の項目

均等割（加入者1人当り）10,000円から13,000円  
 平等割（1世帯当り）12,000円から15,000円  
 課税最高限度額が52万円から53万円に変わりました。

#### 2. 国民健康保険税算定のあらまし

医療費の伸びに対応するため今年度は税額の引上げを行いました。税額は次のように計算されます。

- ①所得割額→従来通り前年中の所得の7.50/100
  - ②資産割額→従来通り固定資産税の36.00/100
  - ③均等割額→改正（10,000円から）  
1人に対し13,000円
  - ④平等割額→改正（12,000円から）  
1世帯に対し15,000円
- ①+②+③+④=あなたの世帯の保険税額

#### 3. どれくらいの税負担になるのか計算してみました。

例・家族3人

給与収入 180万円（給与所得 108万円）  
 農業所得50万円  
 固定資産税額 2万円

#### <改正前>

①所得割額 基礎控除33万円、給与割増控除 2万円  
 (108万円+50万円) - (33万円+2万円)  
 ×7.50/100=92,250円

②資産割額 2万円×36.0/100=7,200円

③均等割額 1万円×3人=30,000円

④平等割額 1世帯12,000円

①+②+③+④=141,450円税額 141,400円(1)

#### <改正後>

①所得割額 92,250円 ②資産割額 7,200円

③均等割額 13,000円×3人=39,000円

④平等割額 1世帯15,000円

①+②+③+④=153,450円税額 153,400円(2)

153,400円(2)-141,400円(1)=12,000円

今回の引上げにより12,000円税負担が増えます。